

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
E140A002	生涯学習概論 (Outline of Lifelong Learning)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	2	教育学部			氏名 永田 誠・藤村 晃成 E-mail m-nagata@oita-u.ac.jp, k-fujimura@oita-u.ac.jp 内線 7559, 7545												
授業の概要	現代社会は、産業構造の転換、少子高齢化、情報化、国際化などの様々な変化にさらされ、生活様式・価値観の多様化がおきている。特に、地域社会においては都市化や過疎化の進行に伴い、地域のつながりが希薄化している。生涯学習とそれを支える社会教育は、個人の自己実現を可能にするのみならず、社会的課題を解決する方策として注目されている。本講義では、生涯学習・社会教育を中心とした教育に関する基本的理解を図るとともに、学ぶことと個人の生き方、社会との関わり方について考え、生涯にわたる学びの意義について理解を深める。																	
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	教育に関する基本的な理念・意義について説明することができる																	
目標2	日本における生涯学習の展開と意義について考察することができる																	
目標3	現代における生涯学習・社会教育の現状と課題を考察することができる																	
目標4	学校の多様化とオルタナティブな学びについて考察することができる																	
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1	これまでの学びと生涯学習の関連を振り返る(永田)																	
2	学び方を学ぶ:アカデミック・ライティング(永田)																	
3	1.教育とは何かを考える(1)人はなぜ学び続けるのか(永田)																	
4	1.教育とは何かを考える(2)学習とは?教育とは?(永田)																	
5	1.教育とは何かを考える(3)学習権と学ぶ意味(永田)																	
6	1.教育とは何かを考える(4)教育の目的としての自己実現と相互承認(永田)																	
7	1.教育とは何かを考える(5)現代教育改革と教育基本法の改正(永田)																	
8	1.教育とは何かを考える(6)「学び」と「豊かさ」の関連を考える(永田)																	
9	2.学校の多様化とオルタナティブな学び(1)学校に行かないことは「問題」なのか?(藤村)																	
10	2.学校の多様化とオルタナティブな学び(2)オルタナティブな学びの場の多様化(藤村)																	
11	2.学校の多様化とオルタナティブな学び(3)オルタナティブな学びの現状と課題(藤村)																	
12	3.現代的課題と生涯学習・社会教育(1)生涯学習・社会教育の基本理念(永田)																	
13	3.現代的課題と生涯学習・社会教育(2)ボランティアな活動と成人の学び(永田)																	
14	3.現代的課題と生涯学習・社会教育(3)対話と学びの意識化(永田)																	
15	現代における生涯学習・社会教育の課題と役割(永田)																	
ラ ッ ク ニ テ ン イ ン グ	A:知識の定着・確認	小レポートに基づく質疑応答,指名発問					工 夫 そ の 他 の	LMS (Moodle) の活用										
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業時に指示した次時の授業内容と関連する教科書の頁を一読し、内容について説明できるようにする(22.5h)																
	事後学修	配布資料を用いた復習を行う(11h)。生涯学習・社会教育に関連する文献や新聞記事などの資料・情報の収集を行う(11.5h)。																
教科書	汐見稔幸編『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房,2011年(ISBN 9784623059263)																	
参考書	その他の参考図書については、講義内で随時紹介する																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	学期末課題レポート	40%																
	毎時の授業課題レポート	50%																
	授業内での発表内容等	10%																
注意事項	本講義では、授業内容の理解・深化を図るため、毎時間ごと授業課題レポートの提出を課す。授業課題レポートは、評価に加えるとともに出席確認・質疑応答にも活用するため、受講者は必ず定められた日時までに提出すること。(未提出や提出遅延は、欠)																	
備考	履修者の関心ならびに授業の進捗状況により、講義内容・計画を変更することがある。全15回の内、出席回数(授業課題レポート提出)が2/3に満たない場合は、原則、単位取得を認めない。																	
リンク	URL																	